

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2172600492
法人名	(株)介護社 希望が丘
事業所名	グループホーム ひまわり
訪問調査日	平成19年10月25日
評価確定日	平成 19 年 12 月 17 日
評価機関名	旅人とたいようの会

項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家 族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月17日

【評価実施概要】

事業所番号	2172600492
法人名	(株)介護社 希望ヶ丘
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	揖斐郡揖斐川町谷汲1795番地の9 (電話) 0585-56-0080

評価機関名	旅人とたいようの会
所在地	大垣市伝馬町110
訪問調査日	平成19年10月17日

【情報提供票より】(19年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	7 人, 非常勤 12 人, 常勤換算 4.9

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2階建ての 1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(75000円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	900 円	

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	2 名	要介護2	0 名		
要介護3	4 名	要介護4	6 名		
要介護5	5 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79.8 歳	最低	68 歳	最高	102 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	谷汲中央診療所 黒野病院 山下歯科診療所
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設から7年、離職者がなく利用者とは親子・孫の家族関係の日常生活を継続している。「口出すな」「手を出すな」「見逃すな」の独自の理念が徹底している。認知症の症状や身体機能低下から協働する場面が少なくなった利用者にも、更に声かけやスキンシップ、アイコンタクトと日々対話(笑顔)を重視し、ゆったりと待ちながら時間をかけ、福祉用具を工夫して自力摂食を促している。思いや意向の把握にも、利用者の表情から理解しようとする職員の表情も明るく見守り、利用者も一緒に声かけ安らげる雰囲気がある。又過去に終末期支援の経験があり、その体制が整っているのも安心できる。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価の改善課題である利用者の権利義務については、入所時に書面を提示し丁寧に説明をしている。尚薬剤の管理場所については雇のついた安全な場所に変更している。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価については、職員・施設長・管理者など現場会議で話し合い作成している。職員の修得する知識、技術や向上心は高く、サービスの質の向上への期待ができる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期に参加しやすい夜間に会議を開催し、行政側も協力的でサービス提供に生ずる問題解決など相談をしている。ホームから外部評価を報告したり、メンバーから貴重な意見や公民館活動に利用者の参加を受け交流している。特に安全面の「火災時はどうか」と気づきがあり「駆けつける仕組み作り」を検討している。地域向けの広報誌「介護ってなんだろう」を毎月発行し各家庭に配布している。介護や福祉の新しい知識や知らない情報が得られると喜ばれている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族等からの意見や不満苦情の窓口を設けているが、職員から積極的に聞く努力と云いやすい雰囲気作りが心にかけている。「こんな服を着せて」「居室をかたづけたい」など即職員の協働で対応している。また「終末期の不安」など利用者の状態をみながら医師と連携をとり解決に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>数名の職員が地域に居住していることもあり、自治会に加入し地区会議に参加したり、消防団員として地域に積極的に協力し馴染みの関係作りをしている。地域の行事や公民館活動に利用者も参加し、出かけるのが遅い時は、お迎えに来てもらったりして、利用者も閉じこもらずに地域の一員として受け入れられている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ひまわりの基本として「ゆっくり いっしょに たのしく」と掲げ地域行事に積極的に参加し、基本に立ち戻りながら共に暮らし続けることを支えている。尚契約書等書類の事業の目的・運営の方針の制度改正について見直しがされていない。		制度改正(平成18年省令)により「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」に改め、地域との関係性が重視されたことに合わせ、運営の方針の見直しと現状にあった地域密着型のサービスの意義を職員全員で検討し、更なる関係性の強化を期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「口を出すな」「手を出すな」「見逃すな」と具体化した理念を共有し、介護場面で気づき戒め、意見交換しながら日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民の職員がおり、自治会に加入し消防団員として協力している。地域向けの広報誌「介護ってなんだろう」を発行配布しホームや認知症の理解を地域住民に働きかけている。利用者も行事(公民館活動)に積極的に参加し地域の一員として顔なじみの関係が出来ている。しかし日中留守家庭が多く、ホームに気軽に立ち寄り関係はこれからである。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義を全職員は意識しており自己評価にも積極的に取り組み、ホーム・職員の質の向上に取り組む姿勢が見られる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は地域メンバーが参加しやすい夜間に開催し行政側も協力している。ホーム側から外部評価結果を報告し、メンバーからは特に安全について「火災時はどうか」と心配の意見があり、住民が駆けつける仕組み作りを検討している。地域向け広報誌は介護の知識や、新しい情報が得られとても役立っていると好評である。更に会議メンバーに老人会長の参加も考えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	緊急時の特別入所、利用者の紹介、サービス提供に生ずる問題解決など市町村担当者・包括支援センターと情報交換をしながら協議解決に向け相談している。		
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時には必ず声をかけ、利用者の暮らしぶりを伝え、脇役になり、写真撮影したり、情報交換し楽しい時間作りをしている。毎月の「ひまわり通信」で行事などを知らせ、又訪問の少ない家族には個別に手紙や写真を送っている。状態の変化や問題があればその都度報告し解決につなげている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等からの意見や不満苦情は積極的に聞く努力と云いやすい雰囲気作りに心がけている。「こんな服を着せて欲しい」「居室をかたづけて欲しい」「終末期の不安」など職員と話しあいながら問題解決に取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職がなくユニットで固定し、職員同士、利用者とも馴染みの関係ができています。職員の特技(調理・介護経験)が活かされ、安定したサービスを提供している。		
う					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験年数から段階別の資格の挑戦に協力的である。職員間で学習し合い、管理者も勤務体制に便宜を図り事例研修など内部研修にも取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協議会に所属し、協議会の勉強会、研修などで情報を共有したり、ホーム見学や意見交換しながら交流しサービスの向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前には本人・家族の見学で雰囲気を感じてもらい、また入院中であればホームから面会に伺い、本人・家族の想いに向き合い、病院関係者からも情報を得たり安心できる配慮をしている。急な利用でも職員は本人の生活歴や日常生活から多くの情報の把握に努め共有する努力をしている。利用者同士の打ち解ける雰囲気作りやなじみの関係づくりに職員も努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員の年齢層が厚く利用者親子・孫という関係で利用者の知恵袋から知恵をもらったり、元気をもらったり毎日笑い声が絶えない、認知症や身体機能低下から協働する場面が少なくベットの生活が多くなった利用者には声かけを多く、唄う笑う場面の工夫をし一緒に過ごす時間を作っている。利用者同士が協力したり手助けする場面や口論する時も共に笑い合える関係作りをしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で表情や行動から推測したり、遅番・夜勤の職員は利用者に向き合って聴く時間作りに心がけ、「どうしたの」「どうして欲しい?」「どうしてあげるといいか」ミーティングで話あい叶える努力をしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族の意向を踏まえ、医師・職員の意見をまとめ介護支援専門員が作成している。ユニットごとに「重点ケア計画書」を職員が作成し日々課題解決に取り組んでいる。しかし個別記録のA(判断・感想)P(方針・計画)欄の無記入は残念である。</p>		<p>しっかりした介護計画に基づき、日々個別の介護記録に記入しているが、書式通りAアセスメントPプランの記入欄も連携できる記録方法を全職員で再検討することを期待したい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月を定期的に見直しをしている。日々変化する利用者の状況に応じ付け加えたり修正したり、又熱発から状態の急変があれば医師の指示・家族の意見をいれ即計画変更をしている。安全を第一に現状に即した計画の見直しをしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状態を模索し、事業所の機能を最大限活かす取り組みとして介護予防・栄養改善・ショートステイ・サービスの方向性や体制づくりを考えている。かかりつけ医への受診も家族に代わり職員が対応することもある。		
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科往診、歯科医の週1回治療もある。必要に応じ歯科衛生士に口腔ケア、ブラッシングの指導も受けている。24時間医師・訪問看護師と連携して緊急対応が可能で安心できる。基本は事業所の協力医療機関にしているが、希望があれば他の医療機関への受診もできる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期については早い段階から家族と話し合い、かかりつけ医とも連携している。家族の思いの揺らぎや不安に丁寧に親密に対応し職員も共有している。過去に終末期支援の経験があり、終末期について同意書を交わしその体制ができています。		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳を損ねないよう、職員が動作に移る前に声をかけ、特に排泄時には注意している。研修資料(マニュアル)を全職員が持ち自己研鑽している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆっくり寝ていたい、朝食は後で、リウマチの利用者など体調に合わせて強要せず一人ひとりのペースで一日が流れている。寝たきりにならないように声かけを頻回にしたり、身体を動かす、食事もせかせかせずゆったりと介助している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理やかたづけなど職員と一緒に準備や配膳をしている。食事形態も普通、刻み、とろみ、ペースト状など自力摂取から全介助までであるが職員は利用者一人ひとりに合わせ献立の説明をし食材の味覚を楽しめるよう、ゆったりと介助している。クッションを当て食事姿勢にも工夫し、こぼしてもさりげない介助や声かけで楽しい雰囲気がある。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	隔日入浴としているが、排泄状況や身体状態で毎日になったりシャワー浴になったり、希望があれば夜間も対応している。重度になり2～3人の介助職員が必要になったが職員体制を整え出来る限り浴槽に入る工夫をし、清潔保持に努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜を刻む、皮をむく、調理する、草花を植える、手入れする、水遣り、文字を書く、計算する、自宅を見に行く、宝くじを買いに行くなど利用者一人ひとり役割や楽しみごと、気分転換など職員は日々の関わりから想いや意向を実現し喜びを共有している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候・健康状態の許す限り散歩や、車椅子持参で買い物・ドライブに出かけ戸外で外気浴を基本にしている。好きなおやつを買う、ふる里を見に行く・花見に行く、田畑を見るなど季節の風を肌で感じる支援をしている。リフト車を使用することもある。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居間からサンデッキに、庭に、花に水遣り、洗濯物を干したり取り入れたり自由に屋外に出ることができる。職員も利用者の行動パターンを心得ていて静かに見守りをしている。鍵をかけることの弊害を理解しているが、往来が頻繁で見通しの悪い主要道路に面しておりやむなく門扉のみ電子ロックしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て年2回消防訓練・避難訓練を実施し初期消火の重要性の理解と避難場所(公民館)の確認をしている。運営推進会議・地区会議などで事業所の特殊性を伝え協力体制づくりをお願いしている。夜間の緊急対応方法も取り決めている。又地区には職員が3名在住し緊急対応も可能である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取量を記録し栄養バランスに注意して、栄養士に確認と指導を受けている。食事形態や介助方法にも自助具を工夫し自力摂取を促し食事が進むよう努めている。特に水分不足が見られる場合は夜勤者にも申し送り脱水に注意している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間(庭・玄関まわり)には花壇コンクールで奨励賞を受賞するにふさわしい季節の花々が、手入れ良く季節感を取り入れ落ち着ける雰囲気を出している。庭に面したサンデッキには大きなテーブルや椅子を配置し、お茶を飲み、外気に触れ自然を眺める気楽な場所になっている。車椅子でも可能な空間の確保の工夫があちこちに見られる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入り口には、好みの暖簾をかけている。家族写真、行事参加写真、時計、自作のカレンダー、筆筒、椅子など車椅子や補助具が通りやすい空間を作って居心地よい居室となっている。		